



発行所 西蒲原郡 巻町公民館 編集人 北川郡司 印刷所 北洋印刷株式会社

戦争絶滅の悲願こめて

百十七柱合同英霊祭

終戦を迎えて十三年目の今年ようやく今次大戦の戦没者百十七柱の合同英霊祭がこの町で執行された。かつては国の御楯として親兄弟、妻子を残して勇躍前戦におもむかれた多くの方々そ

して国民もまた、そう信じ、国の勝利を期してみなさんを送ったのだが、不幸にして敵弾に倒れ、はた又病魔と闘い、思いを故郷にさせて散っていった方々の勇戦奮斗にもかかわらず悲痛な敗戦を以ってその終りを告げた。六月八日合同英霊祭執行に当り、赫々たる偉勲を偲ぶと共に英霊者の氏名を掲げ衷心より哀悼の意を表するものである。

英霊の氏名

- 式次第**
- 一、遺族並びに来賓着席
 - 二、導師以下着席
 - 三、一同合掌
 - 四、開式の辞
 - 五、葬儀委員長挨拶
 - 六、喪主慰霊の辞
 - 七、読経
 - 八、焼香並びに弔辭
 - 九、謝辭(遺族代表)
 - 遺児代表
 - 一〇、一同合掌
 - 一一、閉式の辭
 - 一二、導師以下一同退場

- (英霊氏名・遺族名)
- 一区
- | | | | |
|-------|----|-------|-----|
| 渡辺 正二 | マツ | 坂爪金一郎 | キクノ |
| 池内 嘉七 | カネ | 金子善三郎 | セキ |
| 落谷 四郎 | 博 | 大原 佐吉 | スミ |
| 渡辺 昌平 | 慎松 | 竹内 長平 | スミ |
| 梅沢甚三郎 | ツタ | 若杉 三郎 | タツ |
| 梅原 修 | スギ | 徳吉 七郎 | ミヤ |
- 二区
- | | | | |
|------|----|------|----|
| 樋浦 忠 | カツ | 樋浦 忠 | カツ |
|------|----|------|----|



- 三区
- | | | | |
|-------|----|-------|-----|
| 菅井 豊作 | 志す | 萩原慎一郎 | はな |
| 小池 保 | ヤス | 中村 利雄 | マキ |
| 小池 智孝 | 清松 | 川島 嘉一 | スガ |
| 星野 秀男 | 清松 | 川島 清治 | タマ |
| 菅井 与市 | ヒデ | 小林 武夫 | 鹿蔵 |
| 土田 忠一 | 志す | 久保田作栄 | マキ |
| | トヨ | 田辺 政一 | イシ |
| | | 遠藤 正一 | キミ |
| | | 山田七一郎 | 七五郎 |
- 四区
- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| 佐久間初夫 | 初太郎 | 野沢福寿郎 | 伝二 |
| 大羽 博 | キク | 星野 克己 | トク |
| 大滝 三郎 | 徳一 | 樋口 博 | トキ |
| | | 渡辺鉄五郎 | トセ |
| | | 石塚善次郎 | 善一郎 |
| | | 土田安之介 | トシ |
| | | 久保田春雄 | アイ子 |
- 五区
- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| 玉木二三郎 | ヨシ | 内藤 義枝 | 義雄 |
| 石塚 松一 | 松太郎 | 山賀 豊信 | リヨ |
| 小泉 敏雄 | ムツ | 星井 宗吉 | 一平 |
| 鈴木 武 | 治三郎 | 小瀬 恒一 | ハナ |
| 栗林 善徳 | キン | 野沢福寿郎 | 伝二 |
| 玉木 三芳 | ヨシ | 星野 克己 | トク |
| 山岸勝三郎 | ムツ | 樋口 博 | トキ |
| 飯塚十四三 | ソチ | 渡辺鉄五郎 | トセ |
| 竹内 菊一 | 龜三郎 | 石塚善次郎 | 善一郎 |
| | | 土田安之介 | トシ |
| | | 久保田春雄 | アイ子 |
- 六区
- | | | | |
|--------|----|-------|----|
| 桑田米一郎 | ヒデ | 市川 哲夫 | 元吉 |
| 斎藤 一 | 運平 | 石高 哲夫 | スミ |
| 田畑 護良 | シゲ | 横田 三郎 | スイ |
| 久保田角次郎 | トヨ | | |
- 七区
- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| 赤サビ | 友治 | 古俣 広志 | のぶ |
| 棚前 | 寅蔵 | 野沢十一郎 | 晋一 |
| 内藤 芳夫 | 音吉 | 本間 征男 | タノ |
| 東汰上 | ハル | 竹内九二式 | キチ |
| 渡辺 栄平 | ハル | 横山 正一 | 五三郎 |
| 中郷屋 | 市兵衛 | 星 金一 | ミヤ |
| 田島 正夫 | 政蔵 | 若山甚三郎 | ナカ |
| 佐藤 正三 | 辰哉 | | |
| 葉置場 | 辰哉 | | |
| 真島 辰哉 | トキ | | |
| 羽田 義夫 | 儀兵衛 | | |
| 早川 福司 | トキ | | |
| 渡辺 福司 | トキ | | |
| 馬堀 | 熊一 | | |
| 高橋 熊一 | トヲ | | |
| 金子 正興 | ハナ | | |
| 湯頭 | 理 | | |
| 五十嵐 | 九エ門 | | |
| 越前浜 | 三三郎 | | |
| 篠沢 伸一 | 三三郎 | | |
| 角田浜 | フユ | | |
| 唐見与三吉 | リセ | | |
| 樋浦 未三 | リセ | | |
| 四ツ郷屋 | 源蔵 | | |
| 高杉源太郎 | 源蔵 | | |
| 福井 | トシ | | |
| 本間 六郎 | トシ | | |
| 五ヶ浜 | キクノ | | |
| 遠藤秀四郎 | 留吉 | | |
| 遠藤 栄助 | 留吉 | | |
| 角海浜 | タワ | | |
| 川口 清 | タワ | | |
- 八区
- | | | | |
|-------|-----|--------|----|
| 小林 重郎 | 関太郎 | 小林 三四郎 | チヨ |
| 村松 四郎 | 作一 | 金子 一男 | イサ |
| 高橋 正雄 | マサ | 桜沢寿四郎 | 千代 |
| 伊藤 四郎 | 源一 | 沢栗 与都 | 与作 |
| 西塔由太郎 | 敏雄 | 佐藤 吉郎 | セツ |
| 内藤 義秋 | 長太郎 | | |
| 長谷川要平 | トイ | | |
| 田中 源二 | ハツ | | |
| 小林 正一 | ハツ | | |
- 九区
- | | | | |
|-------|----|--|--|
| 永井 平一 | ハル | | |
| 大原 佐市 | 佐六 | | |
| 石川喜八郎 | 種男 | | |
| 大越藤五郎 | 静枝 | | |
| 田辺藤市郎 | トラ | | |
| 伊藤 俊雄 | スイ | | |
| 本井 文一 | トク | | |
| 永井 正二 | ナカ | | |
| 本田 利雄 | 一郎 | | |
| 樋口 哲也 | カネ | | |
| 遠藤 操 | 仁二 | | |
- 十区
- | | | | |
|--------|-----|--|--|
| 桑田米一郎 | ヒデ | | |
| 斎藤 一 | 運平 | | |
| 田畑 護良 | シゲ | | |
| 久保田角次郎 | トヨ | | |
| 竹内 忠平 | 忠太郎 | | |
| 榎田 金三 | 音次郎 | | |
| 北原 貢 | キミ | | |
| 伝川 年治 | 又蔵 | | |
| 武田七次郎 | 三作 | | |
| 赤サビ | 友治 | | |
| 棚前 | 寅蔵 | | |
| 内藤 芳夫 | 音吉 | | |
| 東汰上 | ハル | | |
| 渡辺 栄平 | ハル | | |
| 中郷屋 | 市兵衛 | | |
| 田島 正夫 | 政蔵 | | |
| 佐藤 正三 | 辰哉 | | |
| 葉置場 | 辰哉 | | |
| 真島 辰哉 | トキ | | |
| 羽田 義夫 | 儀兵衛 | | |
| 早川 福司 | トキ | | |
| 渡辺 福司 | トキ | | |
| 馬堀 | 熊一 | | |
| 高橋 熊一 | トヲ | | |
| 金子 正興 | ハナ | | |
| 湯頭 | 理 | | |
| 五十嵐 | 九エ門 | | |
| 越前浜 | 三三郎 | | |
| 篠沢 伸一 | 三三郎 | | |
| 角田浜 | フユ | | |
| 唐見与三吉 | リセ | | |
| 樋浦 未三 | リセ | | |
| 四ツ郷屋 | 源蔵 | | |
| 高杉源太郎 | 源蔵 | | |
| 福井 | トシ | | |
| 本間 六郎 | トシ | | |
| 五ヶ浜 | キクノ | | |
| 遠藤秀四郎 | 留吉 | | |
| 遠藤 栄助 | 留吉 | | |
| 角海浜 | タワ | | |
| 川口 清 | タワ | | |
- 十一区
- | | | | |
|-------|----|--|--|
| 水倉竹之助 | シモ | | |
| 古寺 正松 | シモ | | |

▼黄昏のひととき
のうす青
いろの空
の淡い美
しさ。自
然の巧ま
ない色は
飽かぬ永
遠の美しさであろう。

▼都会地の夜は街にネオンが輝き、とりどりの光が交錯している。だがその色は果して私たちの心を休ませてくれるだろうか。けばけばしい色は無意識の中に脳に好まざる刺激を与えているという。ある国では静かな落ついた感じを与える色だけに制限しているとか。それでこそたまの夜の散策もたのしく心休まる思いがするであろう。

▼食品着色の毒々しく鮮明なものほど有毒度が高いと以前から指摘されてきたが、最近これらの問題が特に取り上げられ自然色食品に親しむ運動が着実に進められてきたことは本当にうれしきことだ。着色になれて来た目には当分気抜きの感もしよう。だがやがて自然色の美しさにむしろ親みをふかく感ずるようにもなる。▼人工美の多い現代に素朴な自然美にふれるだけでも何かしらほっとした感じがしないだろうか。

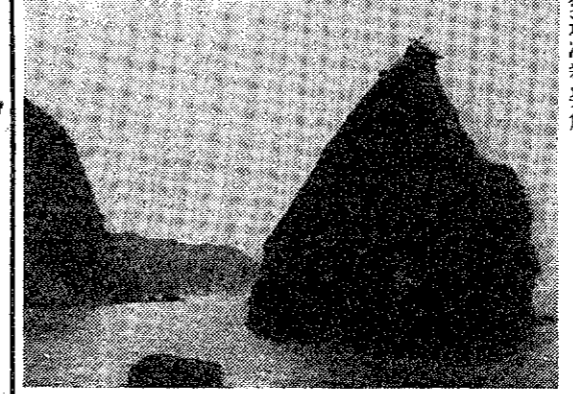


(農業移動教室) 主人である所謂「おやぢ」達の相互教育の場...

年達は青い果して見え出せないものだろうか。しかし、これらの人達は勿論、農事研究会やその他の組合活動に加入しているけれども、町の行政とのつながり...

夏の観光

海への季節 海難防除祈願祭を行って迎えて角田浦浜の海水浴大会、西瓜拾いなど盛りだくさん...



選挙表 (Election Results Table) with columns for district, gender, name, and vote count.

奨学生の種類 (Scholarship Types Table) with columns for type, amount, duration, and exam details.



(写真真実例の曉の投票所に野良猫がつかか...

時間厳守を明く集会



リーダーの養成

昨年度開設された町内の青年学級は十五学級六百人が参加し、特に農業高校開放農業青年学級は県下の注目をあびて閉講した。

1部の作り方、学級運営の問題、文集活動、評価等を学習する。場所 巻町公民館...



町民の声を随筆・小品文短歌・俳句・詩その他...

青年団球技大会 西浦原郡連合青年団球技大会出場巻町予選...

浦浜青年団 浦浜青年約十六名は快晴の六日跡彦山に登...

講演会 鶴田知也先生「コンヤマン記の芥川賞で知られる鶴田知也先生の講演会を七月...

夏への季節 海難防除祈願祭を行って迎えて角田浦浜の海水浴大会...



農業青年学級 角田山頂で会合 去る三月県内注目...

浦浜婦人会 浦浜婦人会は浦浜衛生自治会に協力、蚊、はえをなくし明るい部落...

青年団球技大会 十分競技開始 竹野町小学校 男女の二種目...

講演会 鶴田知也先生「コンヤマン記の芥川賞で知られる鶴田知也先生の講演会を七月...

原稿募集 町民の声を随筆・小品文短歌・俳句・詩その他...

食べ物といのち

— 危険です —

先づ健康であることが私共は勿論、子供の将来の幸福を築く第一要件であります。この健康を維持増進するためにやらんで食膳にのせたり、オヤツに与えた食べ物、逆に私達の、そして子供達の健康を害することがあるとしたら単に不幸だという以上に、裏切られたといったいきどおりに感ずるであろう。私達は、毎日摂取する食品が果して健康維持、増進する食品であるかどうかふり返ってみる必要があろうかと思ひます。

食品工業の発展に伴い、外観の美化、生産価格の引下げなどにより、大規模な製造を経済的に可能ならしめるため、いろいろな薬品が、しかも大量につかわれていきます。

かつては自然界からとられた毒性の少ない天然品が用いられたものだが、化学の進歩により人工的につくられた安価な化学的合成品がその大部分を占めています。

それに製造過程で毒物劇物などの毒性の強い薬品が使用されることが多いし、こうして作られた薬品は、その使用が認められているといえども、比較的毒性が少ないというだけで全く害がないというものはほとんどない

のが現状です。ですからこれを長い月日に亘って食べるこ

とによって慢性中毒となり、胃腸、腎臓、肝臓障害等の危険があります。それに不良食品をこまかすために必要以上に大量につかわれているところに更に大きな問題があります。御承知の方も多しと思ひますが、昭和三十年に発生した森永粉乳事件を契機として、ようやく食品に使用される薬品に対する関心が高まり、これら薬品を対象とした食品衛生法の大改正が行われまし

た。着色料の種類は三千数種類に及ぶが食品に使用することが認められているものは僅か三種類に過ぎないことも充分知って頂きたいと思ひます。

- 健康がおかされる
- 栄養がない
- 不良食品をこまかす為に用いられる
- 製品の価格が大なり小なり高くなる

保健所では市場の不良食品の追放と同時に街頭検査を実施、食品の指導に力を出すこと

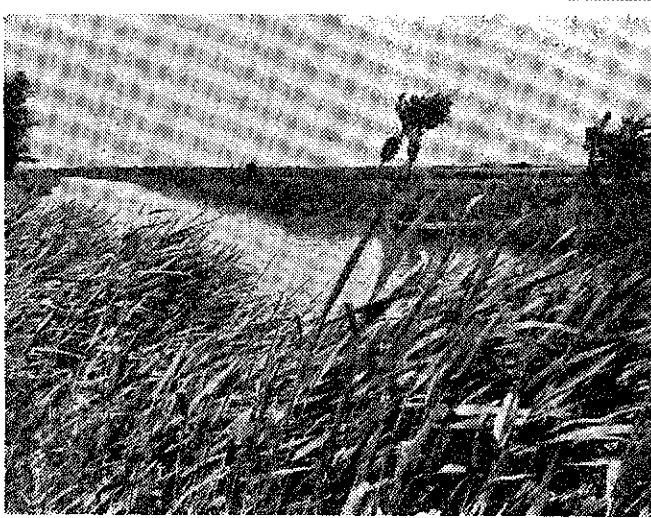
守るため！特に子供達に不必要な薬品をつかわない食べものを業界に要望してはいますが、消費されるみなさんからも先分に認識していただきたいと存じます。

火の用心

災害は忘れたころやってくるものです。今一度火災電話のかけ方を紹介しておきます。

火災を発見した場合、局を呼び出し「火事」を告げると局では直ちに消防署を呼び出しますから「どこどこが火事」ということをはっきり伝えて下さい。ややもすると局を呼び「火事」だけを伝えて電話を切られることが多いので火災現場へのかけつけがおくれるばかりが大変なことになるになります。

「どろぼう」「救急車」も同様であります。「救急車」は町立病院へ直ちに電話が通じますので、用件を伝えて下さい。



大通川

その (2)

空梅雨模様の日照りつゞきで、何時降るとも予測が立たず、自然界は、一とびに真夏のたゞずまい——雨乞いや、水争いの風聞が人々に時代錯誤を起させるのも無理からぬことである。

大通川は、分水町の笈ヶ島から出て約二十軒、数々の用水堰はとりのぞかれて

今はこの地域の有数の大排水江である。したがって鰻瀉にそぐ附近は、年々河口が突き出て、数町歩の干拓田を生じ所謂鳥趾状デルタの景観をもつ。

空梅雨模様の異状天候とはいえ、こゝに立てばすべてが「水」に連らなってい

る——

青々とした葦のそよぎ、エキゾチックなポプラの樹立とガスタンクの面白い形が空と水の色に映えて、初夏のメロデーを奏でる。



33

編集後記

珍らしい空梅雨、しかもかんかん照りつける天候、寒暖計の水

日常のメートル法

新聞 (日刊紙1頁)	タテ54.5センチ
	ヨコ41センチ
鉛筆の長さ	17.5センチ
白米1俵	60キログラム
ビール1本	0.72リットル
サイダー1本	0.36リットル
はがき	タテ14センチ
	ヨコ9センチ
配給米1日分	365グラム
木炭1俵	30キログラム

銀も三十度を超そうとする暑さ、このまゝ夏を迎えるのではないかと気をもませた天候もついに二十八日、実に十八日振り雨が降った「慈雨」こんなに強く感じたことがあろうか。水をめぐる傷害事件や人工降雨を試みたところもあるとか。

それにしても今年すでに数件にのぼる子供の犠牲者の出たことは何んといつてもいたましい限りだ。毎年のことなのだが、この季節になると問題にされるのがプールだ、水による悲劇はもう御免です。この辺で何んとか打つ手はないものだろうか。

八日今次大戦の戦没者百十七柱の合同英霊祭が執行された。勇戦赫々たる偉勲を偲び、哀悼の意を表したいと思ひます。